

# 京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画の進捗状況評価に関するロジックモデル

## 重点事項

①犯罪の根底にある社会的孤独・孤立を防ぐ対策

②地域の実情に応じた活動・支援の担い手の育成及びコミュニティの活性化

③デジタル社会に対応した防犯対策及び教育の実施

④子ども、女性、高齢者等の安全確保及び被害等への重層的支援

## 施策の方向性・取組

【防犯まちづくり】  
○地域防犯力の向上のための働きかけの推進  
・防犯ボランティア活動への財政的支援やボランティア講習会の実施  
・現役世代や学生などのボランティア参加への働きかけ  
・事業者による防犯CSR活動への支援 など

【再犯防止】  
○関係団体が連携する課題解決体制の構築  
○当事者や支援者、民間支援団体などの連携・協力のフォーラム創りの支援  
○矯正行政や保護司活動への理解促進に向けた活動の推進  
・再犯防止推進会議や再犯防止推進ネットワーク会議の実施と継続的な連携  
・再犯防止計画策定に向けた市町村担当者研修会  
・関連団体等を対象としたアンケート及び関連団体紹介パンフレットの作成  
・「再犯防止推進月間」「社会を明るくする運動」等と連動した広報啓発 など

【犯罪被害者等支援】  
○犯罪被害者等支援を担う人材の育成及び確保に向けた活動等への協力、支援  
○ワンストップ体制の整備  
・京都犯罪被害者支援センターが行う運営への協力  
・市町村担当者研修会等を通じた人材の育成  
・犯罪被害者等支援調整会議を軸としたワンストップ体制の整備・充実 など

【防犯まちづくり】  
○詐欺、児童買春・児童ポルノ等のサイバー犯罪の被害防止の取組強化  
・SNS等に起因する事犯等に係る広報啓発等の実施  
・デジタル技術を悪用した事犯への対処能力の強化 など

○ネット安心アドバイザーや学生ボランティアの確保と教育機関等との連携の推進  
・ネット安心アドバイザーや学生ボランティア等の確保  
・サイバー犯罪等被害防止に向けた教育機関、事業者等との連携 など

【防犯まちづくり】  
○子ども、女性、高齢者等が被害者にも加害者にもならないための環境の整備  
・非行防止及び薬物乱用防止教室等の実施  
・金融機関、コンビニ等と連携した特殊詐欺等対策の実施 など

【再犯防止】  
○刑事司法の入口段階における支援と関係機関の連携  
・地域再犯防止・社会福祉アドバイザー事業の効果的活用

【犯罪被害者等支援】  
○虐待や犯罪等によりトラウマを抱えている人々への支援環境の整備  
・研修用及び教育用eラーニングツールの周知等による支援環境の整備 など  
○中長期にわたる支援及びきめ細やかかつ重層的な支援の充実  
・犯罪被害者等支援調整会議を通じた被害者へのきめ細やかかつ重層的支援、関係機関との連携 など

## 成果目標（短期）

【防犯まちづくり】  
○防犯ボランティア活動を担う人材、団体のスキルアップ及び活性化  
指標：☆府民協働防犯ステーション活動実施回数の推移  
☆ボランティア講習会でのアンケート結果 など

【再犯防止】  
○立ち直りを支える支援者、団体による支援のネットワークや関係団体の連携の場づくり  
指標：☆再犯防止推進会議等の会議や関連イベントにて交流、連携した団体数  
☆再犯防止ネットワーク会議アンケート結果  
☆地方再犯防止推進計画を策定している市町村数

【犯罪被害者支援】  
○犯罪被害者等支援を担う人材のスキルアップ及びワンストップ体制の整備  
指標：☆市町村担当者研修会への参加自治体職員数

【防犯まちづくり】  
○デジタル社会に対応した防犯体制の構築  
指標：☆各種団体、事業者等との体制強化に関する連携状況  
☆サイバー犯罪等の相談件数、検挙状況 など

○サイバー犯罪被害防止に必要な知識の習得やネットモラルの醸成などに関する教育・取組の充実  
指標：☆少年のSNS等に起因する事犯件数の推移  
☆ネット安心アドバイザー等による講習会実施回数の推移 など

【防犯まちづくり】  
○子ども、女性、高齢者等が被害に遭わないための環境の整備  
指標：☆特殊詐欺被害件数の推移など

【再犯防止】  
○刑事司法の入口段階で早期に支援に繋げる体制の構築  
指標：☆地域再犯防止・社会福祉アドバイザー事業での相談者数

【犯罪被害者等支援】  
○犯罪被害者等への支援環境の整備  
指標：☆京都犯罪被害者支援センターにおける相談受理件数  
☆市町村研修会におけるアンケート結果など  
○犯罪被害者等への支援の充実  
指標：☆犯罪被害者等補助金等の支給状況 など

## 成果目標（長期）

・地域での見守り・交流の場や居場所が確保され、地域の多様な主体が領域を超えて連携・協働し、相互に支え合いながら、人と人との「つながり」が生まれる社会を創る。

・関係機関、団体などによる幅広いネットワークが構築され、それぞれが持つ資源を十分かつ効果的に活用して、府民が安心して生活することができるまちを創る。

・デジタル社会に対応した防犯体制が構築され、子どもから高齢者までそれぞれの特性に応じた情報モラルが向上し、誰もがサイバー空間における脅威に屈しない環境を創る。

・子ども、女性、高齢者等の安全が確保され、被害者にも加害者にもならないよう、早期に必要な支援につながり、多機関協働による重層的支援のネットワークが機能する環境を創る。

【あるべき姿】 犯罪のない、一人ひとりが安心・安全を実感することができるまちの実現